



# 令和6年能登半島地震に対する 日本下水道事業団の対応について

～地震発生から2ヶ月の取り組み～

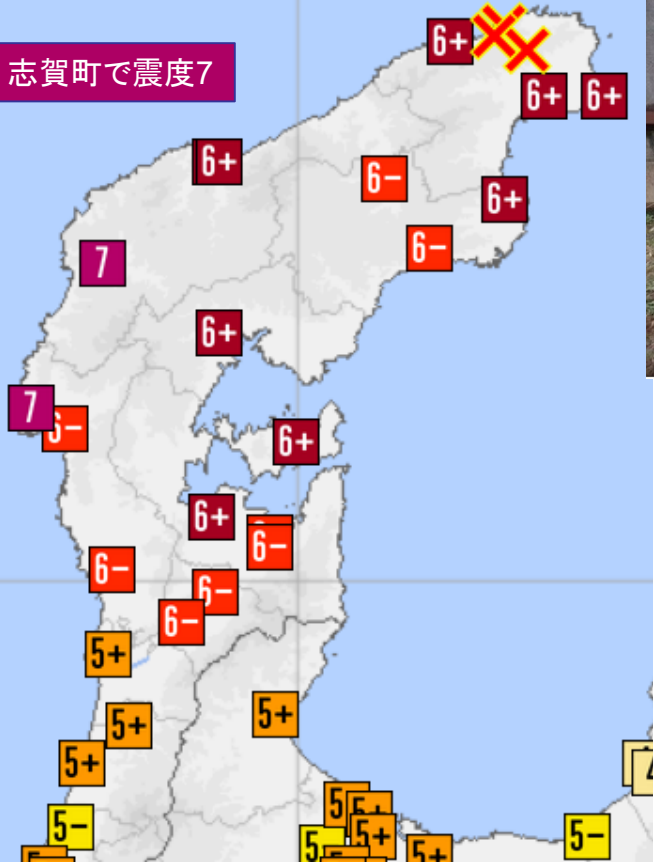
令和6年3月



# 令和6年能登半島地震の概要

- 令和6年1月1日16：10に石川県能登地方でマグニチュード7.6、最大震度7を観測。
- 地震動による建物被害、土砂災害、液状化被害、津波浸水被害、火災被害など複合的な災害が同時発生。
- 下水道施設の被害では地盤沈下による場内埋設配管の破断、引込柱傾斜等による電源喪失、浸水による水没被害が多数発生。

輪島市、志賀町で震度7



【地盤沈下】埋設配管の破損  
(羽咋市羽咋T)



【電源喪失】引込柱傾斜  
(珠洲市熊谷P)



【地下浸水】機器部水没  
(珠洲市野々江P)

「気象庁 震度データベース検索」より



# 地震発災後の対応と支援状況について

- 地震発災後、速やかに非常体制を発令し、理事長を本部長とする災害対策本部を本社内に設置。
- 全国のJS技術職員を被災地へ派遣し、災害支援の要請があった8市町36施設の復旧に向け、支援中。

1月1日

非常体制発令。災害対策本部を本社内に設置。

1月2日

第1回災害対策本部会議を開催（現在までに11回開催）

1月5日～

## 全国ルールに基づく支援調整隊へ派遣

- ・石川県下水道対策本部にJS幹部を派遣中
- ・国土交通省（隊長）のもと支援活動

1月6日～1月12日

## JS先遣隊（0次調査隊）の派遣

- ・延べ51人日で8市町、35施設の被害状況を確認

1月12日～1月26日

## JS 1次調査隊の派遣

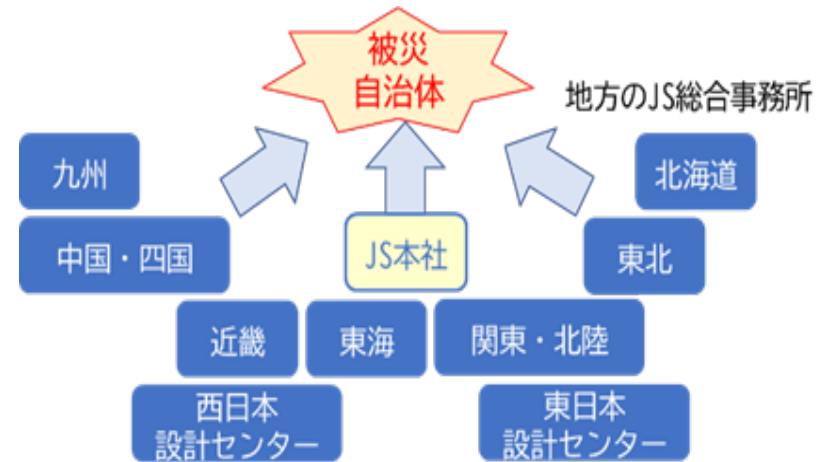
- ・延べ168人日で8市町、18施設を調査

1月26日～

## 本復旧に向けた支援

- ・災害査定、暫定的な機能確保のための応急復旧や本復旧を支援（七尾市で1施設追加され、8市町36施設を対象に支援）

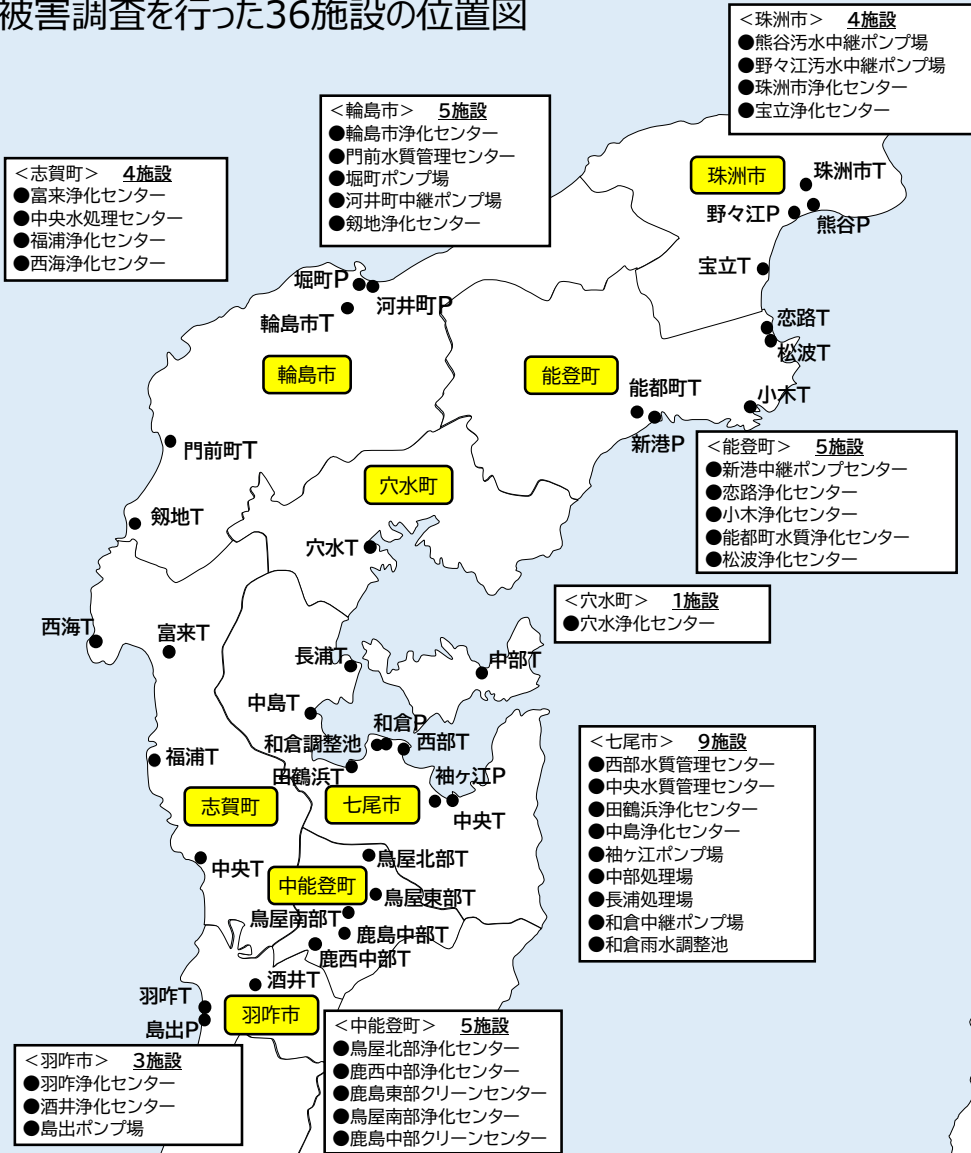
JSは全国の総合事務所等から職員派遣する体制を確立





# 地震発災後の対応と支援状況について

## ●被害調査を行った36施設の位置図



## 下水道施設等への広域・多様な主体による支援

処理場・ポンプ場、

管路、上水道

↓  
JSが災害支援

↓  
被災地域外の  
団体・機関が支援

## JS支援による被災施設の機能確保

被害調査を行った36施設のうち  
**13施設※で稼働停止**（1月6日時点）

※ 処理場：9施設 ポンプ場：4施設

↓  
発災15日後（1月16日時点）

**全処理場の機能を確保**

↓  
発災36日後（2月6日時点）

**ポンプ場は1施設※を残し機能を確保**

※ 珠洲市熊谷汚水中継ポンプ場

↓  
発災64日後（3月5日時点）

**すべての施設の機能を確保**



# 上下水道一体となった早期復旧への取組【珠洲市の例】

上下水道連携した早期復旧を図るため、水道施設の最優先地区を確認し、水道の復旧に合わせて下水道施設を復旧

## 上下水道施設被害が特に甚大な珠洲市の早期復旧方針

### ■ 水道の最優先復旧方針

- ・珠洲市役所及び珠洲市総合病院への配水ルートを最優先で復旧を目指す

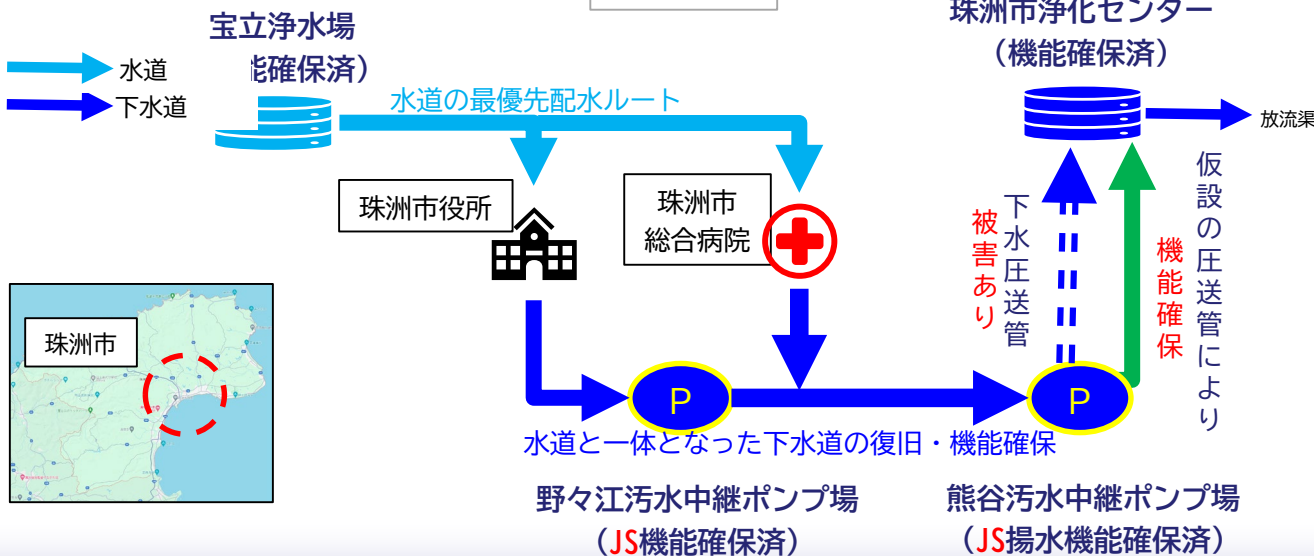
### ■ 水道の復旧にあわせて下水道施設を復旧

- ・ポンプ場、浄化センターの機能の確保
- ・特に被害甚大な圧送管は仮設により早期に機能を確保

## 広域・多様な主体による支援

支援分担	下水道		水道
	ポンプ場・処理場	管路	
被害調査 復旧工事	JS	名古屋市 浜松市 静岡市	名古屋市 浜松市 静岡市 仙台市

復旧模式図



熊谷污水中継ポンプ場から珠洲市浄化センターまでの仮設圧送管の布設  
(国土交通省HP 災害・防災情報より)



# JS職員による災害支援活動を広く知ってもらう取組

○被災地で復旧活動を行っている私たちJSの姿も広く知ってもらい下水道インフラへの理解を深めてもらう。



下水道インフラの存在は当たり前のものであり、災害でその機能が止まったとき時に初めて（改めて）その重要性を実感。



JS先遣隊による被災状況調査  
(1月6日 羽咋浄化センター) 公式HPより

## JSは広報を災害支援活動の一環として取組

- 公式ホームページ
- SNS
  - ・Facebook (フェイスブック)
  - ・X (エックス)



JS幹部職員（関東・北陸総合事務所長）

珠洲市長

珠洲市長へ被害調査結果説明  
(2月2日 珠洲市役所) 公式HPより